

ミニ特集 人権について考えませんか

問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229/FAX22-1659

講演会「共に生きる社会をめざして」

日時 3月17日(木)午後2時～4時
 会場 上宮川文化センター・ホール
 講師 NPO大阪障害者自立生活協合理事長・楠敏雄氏
 内容 障害者の人権について、ご自身の体験談をまじえながら精神障害者問題や雇用問題、支援費制度の現状と課題等をお話しいただき、共に生きることの大切さを考えます。
 定員 先着100人
 申し込み 電話がファクスで、講演会名 氏名 住所 電話番号を上記へ



楠 敏雄氏

人権啓発展示会



「出会いのための障害者メッセージ」

日時 3月16日～23日(日曜・祝日を除く) 午前10時～午後7時
 会場 上宮川文化センター 大会議室
 内容 障害のある人もない人もそれぞれに補い合い、共に主人公となる社会のあり方について考えます

講座「アジアの子どもたちは今」

日時・内容 3月16日(水)午後7時～9時、「地震の村で『寺子屋』づくり」カンボジアこどもの家代表・栗本英世氏 / 23日(水)午後7時～9時「アジアの子どもたちとNGO」特定非営利活動法人アジアボランティアセンター代表・平田哲氏 / 30日(水)午後7時～9時「インド洋大津波と子どもたち」特定非営利活動法人アジアボランティアセンター代表・平田哲氏
 定員 先着30人
 申し込み 電話がファクスで、講座名 住所 氏名 電話番号を上記へ

ヒューマンライツシアター「未来への贈りもの」

日時 3月11日(金)午後6時30分～8時12分(各回とも上映30分前に開場) 3月12日(土)午前10時30分～午後0時12分・午後1時30分～3時12分
 会場 上宮川文化センター・ホール
 定員 各回とも、当日先着100人
 内容 尾道を舞台に、突然の病気で視力を失った少女・未来(みく)が、周りの人たちとの出会いを通して希望を取り戻していく物語。耳の不自由な人のために字幕がつき、視覚障害者も健常者と同じ条件で映画を観ることができるように、想像力をかき立てるセリフを入れることで、状況や場面を思い浮かべられるような工夫をしたバリアフリー映画。監督・多田義彦 / 出演・岩崎典子、白畑真逸ほか。



《3月のシネポケット“ひゅーまん”》

日時・内容 3月2日(水)「僕の村は戦場だった」 / 9日(水)「ユキエ」 / 16日「きっと忘れない」 / 23日「キルトに綴る愛」、いずれも午後1時30分～ 定員 先着30人 会場・問い合わせ 上宮川文化センター(☎22-9229 上宮川町10-5)

2005年春 5月3日・4日/午前10時～午後5時 会場：美術博物館

出店者募集

販売物の内容 広い範囲での個人の創作作品に限ります。また、原則として作者(あるいはグループ)が直接店頭で販売されることを希望します。
 古物、古着、既製品、仕入れ品などの日用品は扱いません。
 参加申し込み 3月15日(火)<必着>までに、所定の申込書(電話でご請求ください)を右記へ。出店に際して、販売予定の作品2～3点の写真をお送りください。主催者の趣旨にそぐわない場合は出店をお断りすることがあります。
 費用 2日間の売上げの15%を美術博物館にお納めください。

ボランティアスタッフ募集

アートフリーマーケットの準備、案内、広報などの仕事をするボランティア・スタッフを募集します。
 期間 3月中旬～5月初旬(6日間)
 内容 出品者リスト作成、案内の作成・発送 / 参加者説明会、広報活動 / 会場の準備 / 会場統括、案内
 募集 2～3人(面接で選考)
 資格 20～50歳、パソコンができる人
 その他 交通費(1日2,000円限度)を 実費支給します。
 応募方法 3月11日(金)<必着>で、履歴書を下記へ。

震災から10年 米田知子展

本展は「震災から10年」をテーマに、芦屋市内を撮影したScene "シリーズ"の新作カラー写真8点、および震災直後に神戸周辺を写した未発表のモノクロ写真10点から構成されます。本展が、美術という切り口により、「10年」という時間のもつ意味についてともに考察する場となれば幸いです。
 会期 2月26日～4月10日(月曜休館 / 祝日の場合は翌火曜日)
 開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
 会場 美術博物館
 観覧料 一般500(400)円、大生400(320)円、中学生以下無料(団体料金・20人以上)
 同時開催 「震災から10年 大橋了介作品の修復と再生」 「これなんやる? ちょっと昔の生活道具」 「伝えたいあの日:震災記録写真展」

小企画 震災から10年「谷崎潤一郎の地震ざらい」

会期 3月27日(日)まで<月曜休館 / 3月21日は開館、翌22日休館>
 開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
 観覧料 一般300円、大生200円、中学生以下無料
 常設展 谷崎潤一郎の生涯と作品を原稿・書簡・初版本・写真等で紹介。
 問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852(伊勢町12-15)

エイジレスライフセミナー<前期> 受講者募集

【17世紀のオランダ絵画・点描】 講師 小橋記念美術館館長・西村規矩夫氏 日時 4月8日 5月13日 6月10日 7月8日(いずれも金曜日) 午後2時～3時30分 会場 市民センター 218室 定員 60人 受講料 3,500円(全4回)
 【『歎異抄』に学ぶ7 親鸞の教え】 講師 大谷大学特別任用教授・小野運明氏 日時 4月28日(木) 5月27日(金)午後2時～3時30分 / 6月3日(金) 7月1日(金)午前10時～11時30分 会場 市民センター401室 定員 100人 受講料 3,500円(全4回)
 申し込み 下記事務所で3月3日(木)午前9時から、先着順で受け付け。『歎異抄』の講座、テキストをお持ちでないかたは別途テキスト代160円必要。
 問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962(市民センター内)



参加者からの主なご意見・ご要望

- 山手中学校区 大坂城探石場遺跡の保存について 災害用井戸の設置について 火葬場へのアクセス道路の安全について 山手幹線工事の安全性について マンションの建設規制について 山手幹線での環境保全対策について 環境基準を超えた場合の対応について 山手幹線の防音壁と植栽について 山手幹線予定地の松の伐採について 芦屋川の治水対策について ほか
- 精道中学校区 川西グラウンド周辺の不法駐車問題について 川西グラウンドの緑化について 体育館防災倉庫について 阪神打出駅のバリアフリー化について マンション増加での児童増加対策について 宮川の下底のごみと除草について 芦屋川の散歩道を連続したものに 野良猫対策について 小学生誘拐事件対策について 高等学校学区統合の対応について ほか
- 潮見中学校区 美術博物館の今後について 南芦屋浜のバスの便について 芦屋浜シーサイドタウン歩道の水はけについて 駐輪場の夜間の利用について 芦屋浜のゴミ真空輸送は有料化するのか 阪急バスの運行路線について 市内歩道のバリアフリー化について 自転車の無灯火・歩道走行について 税の増収対策について 学校の清掃は生徒自身で ほか

男女共同参画推進セミナー「次世代のしあわせレシピ」

内容 第1部・講演「ふたりで半分こ」高校教諭・内藤弘正氏 第2部・講師と高校生によるフリーディスカッション
 日時 3月12日(土)午後1時30分～3時50分
 会場 尼崎市労働福祉会館小ホール
 定員 先着60人
 一時保育 1歳以上就学前の幼児10人(3月10日までに下記へ予約)
 問い合わせ 阪神南泉民局男女共同参画推進員連絡会議 ☎/FAX06-6426-0190

昨年十一月、中学校区にて芦屋市自治会連合会主催の「まちづくり懇談会」が開催され、今回は芦屋警察署にも同席いただきました。各会場では、市民の皆さんの「まちづくり」への積極的なご意見に対し、市長・助役をはじめ各部長から回答させていただきました。三会場での参加者数は延べ百二十人、六十四項目のご意見・ご要望がありました。「概要報告」は、行政情報コーナー・図書館・公民館・ラポルテ市民サービスコーナーでも閲覧することができます。

若園町で発見された東六甲大坂城探石場遺跡を、遺跡公園として保存してください。
 A 芦屋市文化財保護審議会や県の審議会等の意見を伺い、記録保存が適当との判断をしています。個人所有の土地ですので、提供公園として一部を保存していきたいと考えています。

山手幹線のトンネル工事が始められようとしている。工事の安全の問題や工事費負担はいくらになるか伺いた。
 A トンネル部分の工事に関しては兵庫県に委託し、治水安全性・施工性・経済性については、工法検討委員会での総合的な観点から工法検討し、万全を期しています。工事費は全体で四十七億程度で、工費の半分くらいが市の負担になる予定です。

JR周辺の駐輪場を使っているが、最終のバスよりも夜の乗りが遅いため自転車が出せなくなるので歩道に止めている。夜中でも利用できるようにしてもらいたい。
 A JR北の駐輪場は、建物の維持管理上の問題もあり二十四時間開けておくのは難しいところです。しかし、JR南側には市営および民間の駐輪場があり、こは二十四時間出入りが可能です。ただこについては、現在のところ定期利用は満車の状況です。で、一時利用のみのご利用になります。

市の行政改革で税の増収を求める施策はあるのか。
 A 目的税など、例えば環境保全のために税をとるなども考えられますが、本市は人口も少なく面積も狭いので、難しい。法人を誘致することも考えられますが、本市は住宅都市であるので、用地を開発し住宅を誘致し、住民税の増収を図るなどの案があります。

奈良県で小学生の誘拐事件があった。芦屋では、行政のほうでどう対応しているのか。
 A 市内の全小学生に防犯ブザーを持たせています。使い方の訓練もしています。子どもたちには他人の車に乗らない、いざというとき、大声を出す訓練もしています。下校時には同じ時間に帰るようにしたり、保護者に協力をいただくようにしています。

「まちづくり懇談会」が開催されました

問い合わせ 市民参画課 ☎2007

公開講座 女性センターまちづくり参画セミナー

「参画と協働 市民ができること市ができること」 講師：龍谷大学教授・富野暉一郎氏

まちづくりに参加するってどんなこと。むづかしい?大変なのでは?でも、自分のまちだから何かしたいって思う人が多いのでは?市民がまちづくりに参加することや、その方法について、返子市長8年の経験を通してお話しいただき、あなたの思いをまとめてみませんか。
 日時 3月24日(木)午後2時～4時 会場 市民センター301室 定員 先着100人(要予約)
 一時保育 2歳以上就学前の幼児。先着10人(3月17日までに<要予約>)
 申し込み はがき、電話、ファクス、Eメールまたは女性センター窓口へ。住所 氏名 電話番号(ファクス番号) 保育希望のかたは子どもの名前・生年月日を記入し下記へ

問い合わせ 女性センター ☎38-2023/FAX38-2175
 Eメール: jousei-ce@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-0092大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)

女性センターフェスタ展
 期間 3月7日～30日(土・日・祝日を除く)午前9時～午後5時
 会場 女性センター(大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)
 内容 フェスタ展示作品(写真、グループ情報誌、川柳、絵手紙等)

3月 テレビ 広報番組ガイド

芦屋市広報番組	あしや30	サターデー min.	放送時間(30分)
芦屋市の動き	芦屋市聖苑オープン		8:00
芦屋市政クララ!	震災復興土地区画整理事業全区域完成		11:30
広報トピックス	集会所トーク		16:00
	これなんやる? ちょっと昔の生活道具		19:30
震災10周年記念事業	「芦屋市犠牲者追悼式」		22:30
	「タイガー大越スペシャルコンサート」	VHSテープ貸出可	
	「忘れない忘れない...伝えよう永遠へ」		
	「美術博物館・米田知子震災写真展」		

* 3月27日(日)は「J-COMプレビューデー」のため、の放送はありません。
 番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネット神戸芦屋J-COM Broadband神戸・芦屋 ☎0120-13-8160

韓国料理とお話

日時 3月18日(金)午前10時～午後2時
 会場 市民センター料理室
 講師 白秋子(ペク・チュジャ)氏
 内容 キンパ(巻寿司)、チャプチェ、わかめスープ 費用 1,000円(賛助会員500円) 当日キャンセルは500円(材料費) 定員 先着24人(要予約)
 持ち物 エプロン・食器用ぶきん
 問い合わせ 芦屋市人権教育推進協議会事務局 ☎38-2091(生涯学習課内)

犬のしつけ方1日教室

日時 3月28日(月)午後1時30分～3時30分
 <小雨決行> 会場 総合公園 対象 生後5カ月以上の犬と飼い主(狂犬病予防注射・混合ワクチンを1年以内に接種していること)10組
 応募多数の場合は抽選 受講料 500円(保険料を含む) 申し込み はがきまたはファクスに 住所・氏名 電話(ファクス)番号 犬の名前と種類 犬の年齢と性別 Eメールアドレスを明記し、3月22日(火)までに下記へ
 問い合わせ 芦屋動物協会事務局(経済課内) ☎38-2033/FAX38-2176(〒659-8501住所不要)

消費生活センターの催し

= 家庭用品交換会 =
 日時 3月13日(日)午前10時30分～午後2時(出品者と協会員は午前10時入場可) *紙袋をご持参ください 会場 市役所分庁舎2階大会議室 出品 12日(土)午前10時～午後3時に会場へ
 品目 食料品・雑貨・衣類等(新品のみ) 細々したものはお断りすることがあります 価格 市価の半額以下程度 清算 3月14日(月)午後1時～3時に会場で。売れた商品は10%、残品は1点につき10円の手数料をいただきます。
 問い合わせ 消費生活センター ☎38-2179

= リサイクル教室 =
 ネクタイ1本で作る『おしゃれなポシェット』
 日時 3月9日(水)午後1時30分～3時30分 会場 市役所分庁舎2階大会議室 持ち物 ネクタイ、裏地(25cm平方)、裁縫道具一式
 参加費 200円程度

のじきく兵庫国体

問い合わせ 国体準備室 ☎38-2056

今年開催される「競技別リハーサル大会」の日程が決定しました。大まかな日程は次のとおりです。

「芦屋市国体だより」を発行しました。競技準備状況を「提供するため、競技準備状況・競技内容・PR活動などを掲載した「国体だより」を発行しました。芦屋市国体だより」は、国体準備室で配布しています。また、市のホームページにも掲載しています。